

乳牛の搾乳量 大幅UP インダクションエコライト iEL(アイ・イー・エル)

概要

- 乳牛のストレス軽減に効果を発揮する“光の質”に特化した新型の省エネ照明「iEL(アイ・イー・エル)」
 - 最小限の電力消費量で明るさを150~200ルクスに保つ事で搾乳量UPが可能
 - ブルーライトとグレア(眩しさ)がLEDと比較して大幅カット
 - 従業員の「働きやすさ」にも好影響
- ✓ アニマルウェルフェアの重要性が広く認知される中で、乳牛(家畜)はもちろん農家とその従業員の為の環境整備が重要視されている。
 - ✓ OPTIZM インダクションエコライトiELは水銀灯やLEDとは異なる独特の発光原理により、極めて少ない消費電力ながら、ブルーライトとグレアを抑え、乳牛にも人にも優しい光を放つ。欧米酪農ではスタンダードな照明。
 - ✓ 多くの論文によると、搾乳量を増加させるためには、牛舎内の明るさを16~18時間明るい環境、6~8時間暗い環境に保つ事が求められ、乳牛の眼の位置で150~200ルクスが必要であると言われている。その増加量が多いもので16%にのぼり、ほとんどの牛舎で8~10%増を見込んでいる。
 - ✓ LEDは乳牛にとってホルモンバランスを崩し、乾物摂取量が大きく減退するブルーライトが出ており、さらにLED発光の特徴ともいえるグレア(眩しさ)がストレスになっていると言われており、インダクションエコライトへの注目度が高まると共に導入も増加中。
 - ✓ 気になる電気代も、搾乳量増加分による収入増に比べると微少にとどまり初期投資は概ね3ヵ月~12ヵ月で回収可能となり、最小限のリスクで投資効率の高さも魅力となる。もちろん人間にも優しい光で昨今、倉庫・工場での導入も進んでいる。

導入効果

- ・インダクションエコライトiELの導入により、長日管理を省エネで実現。
- ・乳牛にとってストレスの無い光を牛舎内に照射。結果、搾乳量アップが見込める。
- ・LEDによるブルーライトやまぶしさを大幅カット。

牛舎を明るく、搾乳量UP。牛にも人にも優しい光で環境最適化。

iEL
INDUCTION ECO LIGHTING

商品名 インダクションエコライト
アイ・イー・エル



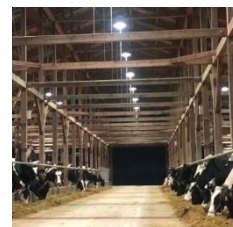
無点灯
(イメージです)



200lx^(100%)の明るさ
(イメージです)



搾乳量を増加させるためには16~18時間明るい環境に保ち、6~8時間暗い状況に保つこと。また明るさは牛の眼の位置で150~200lxが必要であるといわれています。そのために必要な最適な光を提供します。



ブランド名 オプティズム

OPTIZM

○対象品目

水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹	茶	花き
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物		
沿岸漁業	養殖業	沖・遠洋漁業	その他水産業	林業		その他

○該当する二一ズ

項目	畜舎等
技術二一ズ	畜舎環境管理・制御
具体的な二一ズの内容	畜舎の照明・光線管理により生産性等を向上させるシステム

○開発等の段階

開発/実証中	
モニター販売中	
一般販売中	○
その他	

☎連絡先

大作商事株式会社
TEL:03-3539-5900
<https://www.daisaku-shoji.co.jp/>
iel@daisaku-shoji.co.jp
お問い合わせフォーム

情報記載日:2019年11月29日